

令和4(2022)年度 新潟大学脳研究所共同利用・共同研究採択者一覧

課題番号	共同研究種別	新規継続	研究課題名	研究代表者			所内対応教員	
				所属	職名	氏名	分野名	氏名
22001	プロジェクト型	新規	ゲノム情報を基盤とした認知症の病態解明	国立長寿医療研究センター	部長	尾崎 浩一	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
22002	プロジェクト型	新規	精神疾患死後脳の高階層解析	東北大学災害科学国際研究所	准教授	國井 泰人	病理学分野	柿田 明美
22003	プロジェクト型	新規	神経変性疾患における翻訳品質管理RQCの機能解析	東京大学	教授	稲田 利文	病理学分野	柿田 明美
22004	プロジェクト型	新規	多発性硬化症の治療薬開発研究	藤田医科大学	教授	鈴木 元	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
22005	プロジェクト型	新規	ATN分類における $\gamma$ -secretase活性変化の解析(継続)	同志社大学	助教	角田 伸人	遺伝子機能解析学分野	春日 健作
22006	プロジェクト型	新規	凝集前シクレンに着目した病態解明とその応用	弘前大学	助教	丹治 邦和	病理学分野	柿田 明美
22007	プロジェクト型	新規	水チャネル特異的制御による脳内免疫細胞の新規機能探索	生理学研究所	特任助教	堀内 浩	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
22008	プロジェクト型	新規	正常脳組織のゲノム解析によるIDH変異型グリオーマ発生基盤の解明	京都大学	講師	荒川 芳輝	病理学分野	柿田 明美
22009	プロジェクト型	新規	脳におけるドーパミン受容体を介した核-細胞質間輸送制御機構の解明	北里大学	准教授	板倉 誠	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
22010	プロジェクト型	新規	逆向現象(postdiction)の脳内メカニズムの研究	京都大学霊長類研究所	特定助教	勝山 成美	統合脳機能研究センター	伊藤 浩介
22011	プロジェクト型	新規	TGN-073を用いた核酸医薬の薬物動態研究	東京医科歯科大学	教授	横田 隆徳	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
22012	プロジェクト型	新規	新規アルツハイマー病病理モデルマウスを用いたA $\beta$ 蓄積依存的変動遺伝子の網羅的解析	国立精神・神経医療研究センター	部長	橋本 唯史	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
22013	プロジェクト型	新規	脳虚血病巣と腸管機能および腸内細菌叢の連関におけるエクソソームの関与の検討	日本医科大学大学院	准教授	西山 康裕	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
22014	プロジェクト型	新規	内因性カンナビノイド2-AGによる歯状回顆粒細胞を介した記憶制御機構の解明	東京大学	講師	菅谷 佑樹	モデル動物開発分野	阿部 学
22015	プロジェクト型	新規	アルツハイマー病シングルセルデータを用いた統合ゲノミクス解析	大阪大学	特任准教授(常勤)	菊地 正隆	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
22016	プロジェクト型	新規	神経腫瘍におけるがん代謝を標的とした治療法の開発	藤田医科大学	准教授	大場 茂生	脳神経外科学分野	藁田 学
22017	プロジェクト型	新規	生体リズム異常の遺伝子改変技術による分子機構の解明	京都大学	研究員	岡村 均	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
22018	プロジェクト型	新規	血中糖タンパク質の由来臓器同定方法の確立	関西医科大学	准教授	赤間 智也	モデル動物開発分野	阿部 学
22019	プロジェクト型	新規	遺伝子改変マウスの神経活動を記録し、パーキンソン病の病態生理を解明する	自然科学研究機構生理学研究所	助教	知見 聡美	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
22020	プロジェクト型	新規	絶対音感の神経基盤の解明	福島県立医科大学	助教	松田 将門	統合脳機能研究センター	伊藤 浩介
22021	プロジェクト型	新規	ポリプロテインパッチとしてのグアム島のパーキンソン認知症とALS:タウ、TDP-43、アルファシヌクレイン、ユビキチンの蓄積様態と神経細胞脱落メカニズム	信州大学	特任教授	小柳 清光	病理学分野	柿田 明美
22022	プロジェクト型	新規	線条体投射神経細胞特異的Tsc1遺伝子ノックアウトマウスの遺伝子発現解析	岡山大学	助教	宮崎 晴子	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
20001	プロジェクト型	継続	タウオバチーにおける海馬由来コリン作動性神経刺激ペプチド関連因子の動態	名古屋市立大学	教授	松川 則之	遺伝子機能解析学分野	池内 健
20006	プロジェクト型	継続	内因的行動の神経基盤の解明	中京大学	任期制講師	酒多 穂波	統合脳機能研究センター	伊藤 浩介
20007	プロジェクト型	継続	新しいフェルトーシス阻害システムによる神経細胞保護の検討	群馬大学	教授	鳥居 征司	脳神経内科学分野	金澤 雅人
20008	プロジェクト型	継続	慢性疼痛関連分子を標的とした脳および脊髄での機能的解明	関西医科大学	准教授	片野 泰代	モデル動物開発分野	阿部 学
20010	プロジェクト型	継続	微小管結合タンパク質を中心としたゲノム解析と機能解析	同志社大学生命医科学部	准教授	宮坂 知宏	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
20011	プロジェクト型	継続	神経回路精緻化メカニズムの遺伝学的解析	国立遺伝学研究所	教授	岩里 琢治	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
20012	プロジェクト型	継続	アルツハイマー病タウ蓄積および変性に対するaquaporin-4機能促進薬TGN-073の効果の検証	東京大学	助教	山田 薫	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
20013	プロジェクト型	継続	SCA42モデルマウス解析を通じた脊髄小脳変性症治療法の開発	公立大学法人横浜市立大学	准教授	土井 宏	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
20014	プロジェクト型	継続	ミクログリア機能修飾によるタウ病態の変化の検討	量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所	主幹研究員	高堂 裕平	脳神経内科学分野	金澤 雅人
20016	プロジェクト型	継続	脳梁膨大後皮質におけるグルタミン酸受容体GluD2による入力選択的回路形成機構	北海道大学大学院医学研究院	教授	渡辺 雅彦	モデル動物開発分野	阿部 学
21002	プロジェクト型	継続	BRAF V600E変異腫瘍に対する分子標的治療後獲得耐性の克服に向けたトランスレショナル研究	横浜市立大学大学院医学研究科	助教	立石 健祐	脳神経外科学分野	藤井 幸彦
21004	プロジェクト型	継続	中枢神経系原発悪性リンパ腫におけるcaveolin-1発現とその臨床病理学的意義	久留米大学	教授	杉田 保雄	病理学分野	柿田 明美
21005	プロジェクト型	継続	体内時計を制御するオーファン受容体のリン酸化変動を介した睡眠制御機構の解明	京都大学大学院	教授	土居 雅夫	モデル動物開発分野	阿部 学
21006	プロジェクト型	継続	日本人由来ヒトアルツハイマーアミロイドのNMR研究	東京工業大学	教授	石井 佳善	病理学分野	柿田 明美
21007	プロジェクト型	継続	CESTによる脳機能評価系の確立を目指した基礎検討	量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所	グループリーダー	青木 伊知男	統合脳機能研究センター	五十嵐 博中
21008	プロジェクト型	継続	マルチスケールイメージングによる大脳基底核の機能解明	大阪大学	教授	小山内 実	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦

令和4(2022)年度 新潟大学脳研究所共同利用・共同研究採択者一覧

課題番号	共同研究種別	新規継続	研究課題名	研究代表者			所内対応教員	
				所属	職名	氏名	分野名	氏名
21011	プロジェクト型	継続	アルツハイマー病感受性遺伝子バリエーションが中枢神経病理に及ぼす影響の検討	医療法人さわらび会 福祉村病院	副所長	金田 大太	遺伝子機能解析学分野	宮下 哲典
21014	プロジェクト型	継続	筋強直性ジストロフィーにおけるタウ病理：タウPETを用いた検討	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所	技術員	互 健二	病理学分野	清水 宏
22501	資源利用型	新規	アルツハイマー病脳脊髄液バイオマーカーと脳機能画像の対比の研究	東京医科大学	主任教授	清水 聡一郎	遺伝子機能解析学分野	春日 健作
22502	資源利用型	新規	脳疾患ゲノム情報に基づく病態モデルマウスの整備に関する共同研究	理化学研究所	室長	吉木 淳	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
22503	資源利用型	新規	神経変性疾患のPETイメージングの開発	国立長寿医療研究センター	副部長	木村 泰之	病理学分野	他田 真理
22504	資源利用型	新規	疾患モデル動物の作製、保存、繁殖に有用なゲノム編集および生殖工学技術に関する研究	熊本大学	教授	竹尾 透	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
22505	資源利用型	新規	末梢臓器でのドーパミン代謝機構の解析による神経疾患病態の理解	東京工業大学	教授	一瀬 宏	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
22506	資源利用型	新規	神経・筋疾患の動物モデル化による病態の解析	国立精神・神経医療研究センター	部長	青木 吉嗣	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
22507	資源利用型	新規	神経組織特異的Scrapperノックアウトマウスの作出と学習行動に関する解析	関西学院大学	教授	矢尾 育子	モデル動物開発分野	阿部 学
22508	資源利用型	新規	TDP-43イメージングプローブ開発の基礎検討	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所	研究員	小野 麻衣子	病理学分野	柿田 明美
20501	資源利用型	継続	脳研究に必須な遺伝子改変マウスの系統保存に重要な培養条件の検討	東京医科大学	教授	久慈 直昭	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
20502	資源利用型	継続	神経変性疾患モデルマウスのヒト疾患との連関	昭和大学	准教授	大滝 博和	病理学分野	柿田 明美
20504	資源利用型	継続	脳腫瘍の原因遺伝子変異を特異的に抑制するsiRNA核酸医薬品開発	東京大学	准教授	程 久美子	脳神経外科学分野	藤井 幸彦
20506	資源利用型	継続	筋萎縮性側索硬化症におけるインシトール6リン酸キナーゼの役割	東海大学医学部	教授	永田 栄一郎	病理学分野	柿田 明美
21501	資源利用型	継続	筋強直性ジストロフィーにおける多臓器障害の原因解明	大阪大学	特任准教授 (常勤)	中森 雅之	病理学分野	清水 宏
21502	資源利用型	継続	アルツハイマー病における三叉神経中脳路核—青斑核周囲病変の解析	鹿児島大学大学院歯学総合研究科	教授	後藤 哲哉	病理学分野	柿田 明美
21503	資源利用型	継続	DNA障害型抗がん剤の感受性増強因子SLFN11の脳腫瘍における発現解析と臨床的有用性の検討	慶應義塾大学	特任准教授	村井 純子	脳神経外科学分野	藁田 学
21504	資源利用型	継続	運動ニューロン変性に関与する翻訳後修飾の同定	北里大学	教授	佐藤 俊哉	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦
21505	資源利用型	継続	超短命アフリカメダカを用いた各種抗酸化食品成分のアンチエイジング効果の研究	筑波大学	准教授	小林 麻己人	脳病態解析分野	松井 秀彰
21508	資源利用型	継続	脳神経筋疾患モデルマウスにおける超過剰排卵誘起処理と反復採卵による系統保存システムの開発2	公益財団法人 実験動物中央研究所	センター長	高橋 利一	動物資源開発研究分野	笹岡 俊邦

※所属および職名は申請時のものです。

令和4（2022）年度 新潟大学脳研究所 国際共同研究 採択者一覧

新規 継続	課題番号	研究課題名		研究代表者（申請者）				所内対応教員		
		英	和	国	所属機関・組織名	職名	氏名	分野名	氏名	
1	継続	G202001	Hydrodynamic Pathology of the Brain	脳水動態病理学の創生	米	Neurology, Univ. of California Davis (カリフォルニア大学デービス校)	Prof.	Ingrid L Kwee	生体磁気共鳴 学分野	五十嵐 博中
2	継続	G202004	The role of striatal direct and indirect pathways and dopamine D2 isoforms in the pathophysiology of psychosis	精神疾患の病態生理における線条体の直接路と間接路およびD2ドーパミン受容体分子種の役割解明の研究	米	Department of Pharmaceutical Sciences & Health Outcomes, Ben and Maytee Fisch College of Pharmacy, The University of Texas at Tyler (テキサス大学タイラー校)	Associate Prof.	Yanyan Wang	動物資源開発 研究分野	笹岡 俊邦
3	継続	G202005	Investigation of the role of neuromodulators in state transition of neural dynamics to represent a behavioral goal	行動目標表現の際のネットワーク動態変性における神経調節因子の役割の解明	独	Max Planck Institute for Brain Research (マックスプランク脳科学研究所)	Research Group Leader	Hiroshi Ito 伊藤 博	細胞病態学 分野	三國 貴康
4	継続	G202006	Investigating the role of BAI1 in the tumor cell invasion of malignant glioma	悪性神経膠腫の腫瘍細胞浸潤におけるBAI1 の役割の解明	米	Department of Neurosurgery, School of Medicine and O'Neal Comprehensive Cancer Center, University of Alabama at Birmingham (アラバマ大学バーミンガム校)	Assistant Prof.	Satoru Osuka 大須賀 寛	脳神経外科 分野	藤井 幸彦
5	継続	G202007	Investigation of pathogenesis of Alzheimer's disease using mouse models	マウスモデルを用いたインフラマソームを介したアルツハイマー病の病態生理の解明	米	Dept. Neurobiology, Univ. of Massachusetts Medical School, Brudnick Neuropsychiatry Research Institute (マサチューセッツ州立メディカルスクール)	Assistant Prof.	Kensuke Futai 二井 健介	動物資源開発 研究分野	笹岡 俊邦
6	継続	G202101	Production of transgenic mouse lines for labeling retinal cell types and analyses of their roles in visual function	網膜細胞タイプ標識のための遺伝子改変マウス系統の作出と視覚機能解析	デンマーク	DANDRITE, Department of Biomedicine, Aarhus University (オーフス大学)	Associate Prof. / Group Leader	Keisuke Yonehara 米原 圭佑	動物資源開発 研究分野	笹岡 俊邦
7	継続	G202102	Characterization of novelty circuits responsible for memory boosts	日常の記憶の増強を担う新奇な体験情報を伝達する神経回路の同定	デンマーク	Department of Biomedicine, Aarhus University (オーフス大学)	Associate Prof.	Tomonori Takeuchi 竹内 倫徳	システム脳病 態学分野	田井中 一貴
8	新規	G202201	High expression of SLFN11 induces sensitivity to DNA damaging agents in medulloblastoma	髄芽腫におけるSLFN11発現およびDNA障害型抗がん剤への感受性の検討	米	Departments of Pathology, Oncology, and Ophthalmology Chief of Ophthalmic Pathology Director of Neuropathology, Johns Hopkins University School of Medicine (ジョンズ・ホプキンス大学)	Prof.	Charles G. Eberhart	脳神経外科 分野	藤井 幸彦
9	新規	G202202	Sphingosine kinase 2 in Huntington disease	ハンチントン病におけるスフィンゴシンキナーゼ2	米	Department of Neurology, The University of Texas McGovern Medical School at Houston (テキサス大学ヒューストン)	Assistant Prof.	Andrey Tsvetkov	病理学分野	柿田 明美
10	新規	G202203	Sex differences in iron deposition in the brain	脳内鉄蓄積における性別差異に関する研究	米	Department of Neurology, University of Texas Health Science Center at Houston, McGovern Medical School (テキサス大学ヒューストン)	Associated Prof.	Jose Felix Moruno-Manchon	病理学分野	柿田 明美